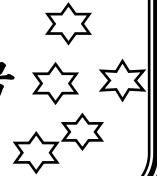




学校だより

11月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



「やっぱり学校行事っていいよね！子どもの成長がすごくよくわかる！」

副校長 廣田 晃士

10月から11月にかけて、学校では、5年生の愛川宿泊体験学習、4年生の野島宿泊体験学習、2年生の野毛山動物園遠足、そしてペア学年で行くなかよし遠足など、様々な行事があります。子どもにとって学校行事、特に校外に出かける行事はとても楽しい活動だと思います。きっと、校外学習の後には、子どものお土産話に家族団らんの時間が盛り上がるご家庭もあるのではないのでしょうか。

さて、先日10月14日、15日には5年生の愛川宿泊体験学習がありました。あいにくの天候ではありましたが、子どもたちは一人ひとりが役割をもち、この日に向けて準備してきたことをしっかりとやり遂げていました。初めての宿泊体験学習に大きな達成感を得ることができていたと思いました。ある先生が次のように言いました。

「やっぱり学校行事っていいよね！子どもの成長がすごくよくわかる！」

さて、子どもたちは学校行事でどんな力を身に着けているのでしょうか。

平成29年に学習指導要領が改訂され、「予測困難な時代にあっても、未来の創り手となるために必要な資質・能力を子どもたちに育むことが必要」という大きなテーマが打ち出されました。これからの学習では、「何を学ぶのか」ではなく、「学んだことを生かして、何ができるようになるのか」ということを大切にしていこうという新たな学力観が提示されました。つまり、これまでのような何かを覚える「知識重視」の教育ではなく、身に着けた知識や技能を、予測困難な社会でどのように活用したらよいかを考えられる「活用重視」の教育に変化しているということです。



さて、5年生の子どもたちは、この体験学習でどんな力を付けたのでしょうか。野外炊事では火おこしをしました。火をおこすために、どうしたらよいか、子どもたちは調べ学習をしました。そして、学校で実際に練習してみて、また考えるという活動を繰り返しました。そこで得た知識や技能を活用して、体験学習の当日には、どのグループも見事に火をおこすことができました。

学校行事には、これまで身に着けてきた知識や技能を活用する場面がたくさんあり、まさに体験的に学ぶことができる場面であると思います。ある先生が「子どもの成長がすごくよくわかる！」と言ったことには、こんな理由があるのではないのでしょうか。

11月に行われるペア学年での遠足でも、きっとたくさんの学びがあると思います。楽しい中でも、しっかりと子どもの資質・能力を高める活動がある。私たち学校職員は、子どもの成長を様々な場面や立場で支えています。日々の学習を生かせる場としての学校行事。子どもたちのお土産話にも、どんな成長があったのかなという、ちょっとだけ教育的な視点で耳を傾けてみてはいかがでしょうか。